

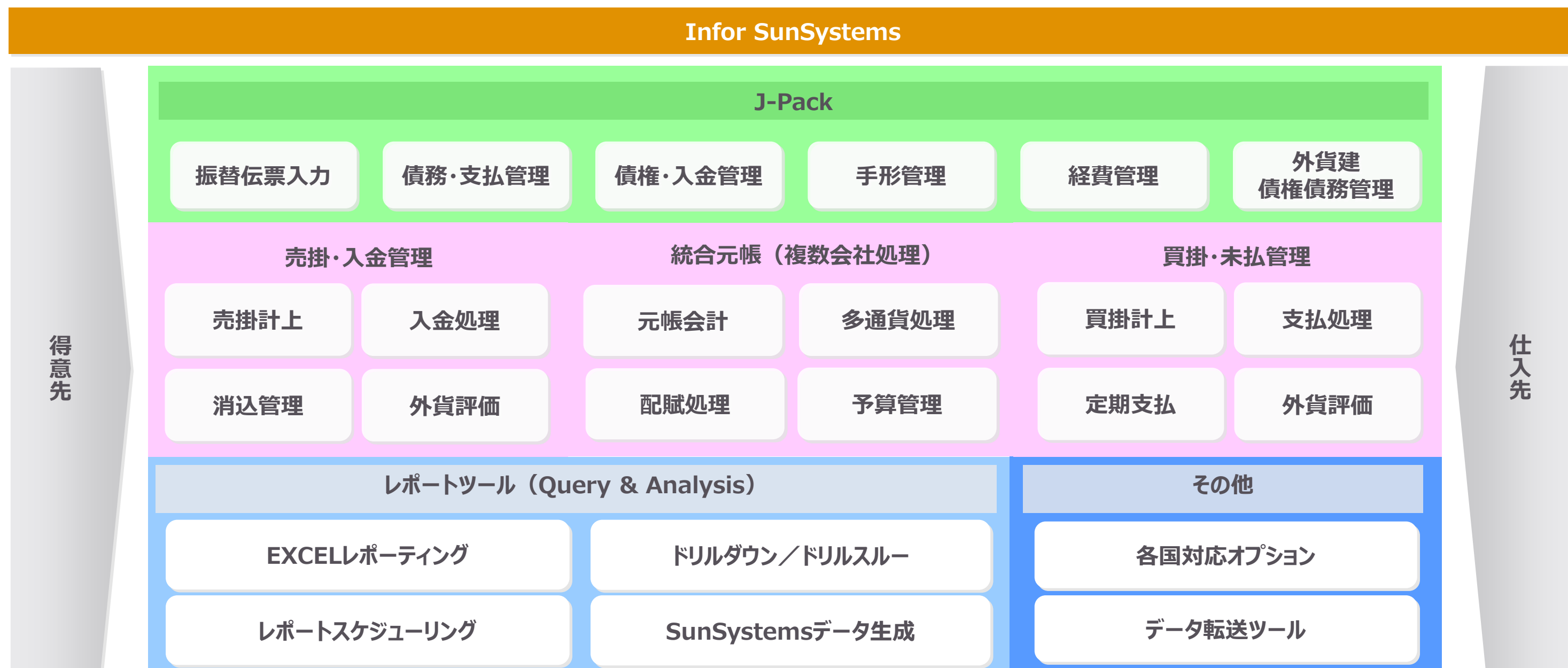


# インフォア社及び製品概要 - Infor SunSystems

インフォアジャパン株式会社

# Infor SunSystemsの全体像

Infor SunSystemsは、グローバル対応の会計システムとして国内外の多くの企業に導入されています



# Infor SunSystems 会計基本機能

- 元帳入力（振替仕訳、債権/債務仕訳、決済仕訳 等）
  - 仕訳パターンのプリセット、入力値のチェック/自動セット
  - 逆仕訳、仕訳コピー
  - 見越・繰延仕訳（仕訳の翌期自動振り戻し）
  - 税金自動計算
- 買掛金管理
  - 手作業支払、自動支払（支払データ作成）
  - 支払許可
  - 一部支払、部分消込管理
- 売掛金管理
  - 手作業入金、自動入金
  - 売掛金消込（手作業/自動）
  - 一部入金、部分消込管理
- 残高/明細照会
  - 勘定科目残高照会
  - 仕訳明細照会
  - 予算・実績対比
- 固定資産管理
  - 資産登録、除却処理
  - 減価償却計算（複数償却方法設定）
- 各種処理
  - 配賦処理
  - 勘定明細消込処理
  - 多通貨管理（レート設定、自動換算）
  - 期末処理（為替再評価、繰越残高計算）
  - 各種権限管理、履歴管理
- 財務レポート作成ツール

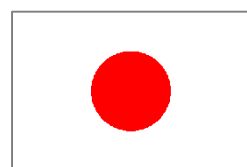
# Infor SunSystemsの特長

多様な要件に柔軟に対応でき、且つシンプルなデータ構造、ユーザの利便性を高める帳票ツール等がInfor SunSystemsの特長です

多言語・多通貨対応	英語・日本語をはじめとする多言語での使用が可能であり、仕訳内に基本通貨・取引通貨・第3通貨まで持てる強力な多通貨機能を有しています
複数会社管理	1つのシステムで複数の会社（事業部）を管理できる為、グループ会社の経理業務の標準化・集約ができる仕組みです
複数元帳管理	実績元帳とは別に10種類の多目的元帳を保持することができ、別会計基準（IFRS等）用元帳や予算元帳、連結調整用元帳など、任意の元帳を作成・管理できます
統合元帳形式	一般会計、債権管理、債務管理などの全ての会計取引を1つの元帳で管理する統合元帳形式を採用しており、データ構造が非常にシンプルで、ユーザや管理者にわかりやすい形式となっています
複数勘定科目体系管理	1つの勘定科目に対し10種類の科目分類定義ができ、単体経理用の科目と本社報告用の科目を分けて管理したり、科目の任意グルーピングをする際に使用できます
取引別セグメント情報保持	仕訳明細毎に持つ10種類の分析コードにより組織・製品群などのセグメント情報を保持することができ、それを元に各種切り口でデータ抽出・レポートングができます
専用帳票ツール	経理部門のエンドユーザがInfor SunSystemsのデータを自由に抽出して加工できるExcelベースの専用帳票ツールを提供しており、使い安さに定評があります
他システム連携	外部データとInfor SunSystemsのデータ項目のマッピングを行い、テキスト・CSV・XMLデータの取り込み、及び出力をコントロールするシステム連携ツールを提供します
各国要件対応	パラメータ設定により各種の国別要件（税処理等）に対応できますが、日本や中国などについては、専用のローカル要件対応パックを用意しています

# 多言語対応

Infor SunSystems ユーザーインターフェースのコア言語サポート



日本語



英語



ドイツ語



ポルトガル語



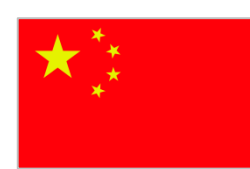
フランス語



イタリア語



スペイン語



中国語 (簡体・繁体)

# 多通貨要件対応

SunSystemsの多通貨機能を活用すれば、会社毎の基本通貨、取引毎の取引通貨、決算報告用の機能通貨の3種類を仕訳内に保持することができます。例えば、シンガポールの子会社では、以下のような設定をすることができます。

会社単位毎の基本設定			
基本通貨	取引通貨	値3通貨	値4通貨
SGD	全通貨	JPY	設定無

会計期毎のレート設定		
換算元	換算先	レート
SGD	→ JPY	66.50
USD	→ SGD	1.23
USD	→ JPY	81.80

仕訳サンプル	基本通貨	取引通貨	値3通貨	値4通貨	
外貨取引の場合	1110 売掛金 借	SGD 1,230	USD 1,000	JPY 81,800	-
	4000 売上 貸	SGD 1,230	USD 1,000	JPY 81,800	-
		×1.23	↔	×81.80	
現地通貨取引の場合	4220 仕入 借	SGD 1,200	SGD 1,200	JPY 79,800	-
	2010 買掛金 貸	SGD 1,200	SGD 1,200	JPY 79,800	-
		×1.00	↔	×66.50	

# 複数会社・複数元帳管理

複数会社・複数元帳管理により、グループ会社及びグローバル拠点で同一の会計システムを使用することができます

実績元帳と同等のデータ明細管理が可能



1つのSunSystemsで管理できる会社（ビジネスユニット）は3桁の英数の組み合わせの範囲で必要な数だけ設定可能です

1つの会社（ビジネスユニット）で、1つの実績元帳+最大10個の多目的元帳の管理が可能です

# 取引別セグメント情報保持

取引分析コードにより、仕訳明細上に最大10種類のセグメント情報を持つことができます。一般的には、事業、部門、商品群、取引先、プロジェクトなどの情報保持に使用されます。

仕訳データ						
勘定科目	金額	部門	商品群	取引先	プロジェクト	...
売上	120,000	A営業部	商品A	得意先A	プロジェクト1	...
売上	480,000	B営業部	商品B	得意先A	プロジェクト1	...
売上	250,000	C営業部	商品C	得意先A	プロジェクト2	...
売掛金	850,000	経理部	-	得意先A	-	...

取引分析コード（仕訳明細に最大10種類のセグメント情報を保持）



# 専用帳票ツール : SunSystems Reporting

- 標準レポートの開発記述基盤として、SQL Server Reporting Service (SSRS) を採用
- SSRSによりWEBレポートの提供、PDF/eメール配信等の複数の出力オプションの提供が可能
- レポートマネージャにて、レポートの実行・出力管理をサポート
- レポートスケジュールの設定、レポートバックアップ/リストアをサポート

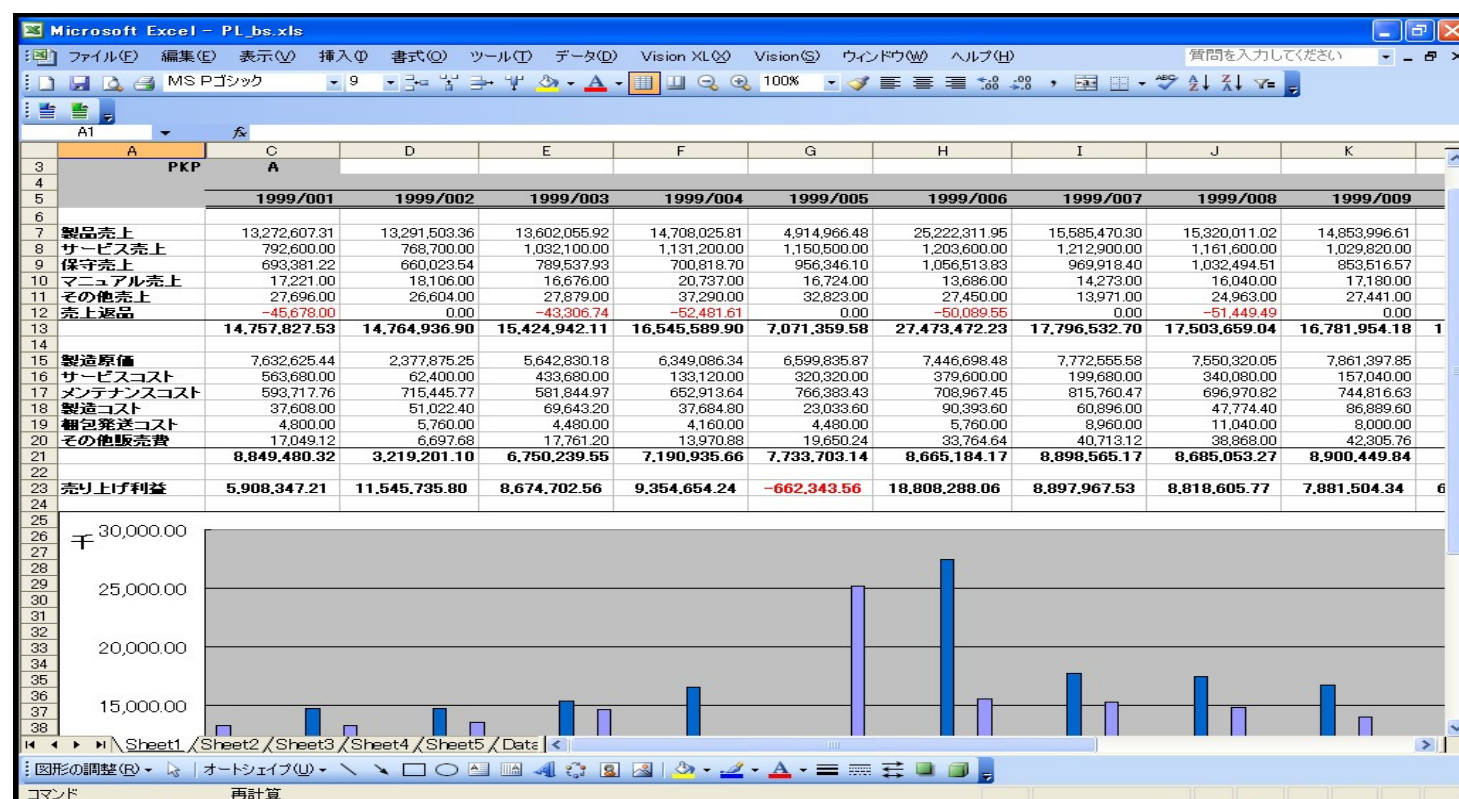
The screenshot displays the SunSystems Reporting interface. On the left is the 'FRCA1 - Report Designer' window, which includes a menu bar (File, Edit, Insert, View, Format, Tools, Help), a toolbar, and a 'Data Fields' pane. The 'Data Fields' pane is divided into 'Objects' (Account, Account Currencies, etc.) and 'Fields' (Account Code, Description, etc.). The main area shows a 'Report Layout' with sections for 'ReportHeader', 'HeaderDetails', 'Detail', and 'PageFooter'. The 'Detail' section contains a table with columns for 'Account Code', 'Description', and 'Status'. Below this is a 'Transaction Analysis' section with a table for 'Enter Analysis 1' through 'Enter Analysis 9'. The 'PageFooter' section contains 'Print DateTime'.

On the right is the 'レポートマネージャ - 試算表 - FPTB1.srdl - Infor10 Financials Business (SunSystems) レポート' window. It shows a preview of a trial balance report for '日本デモ会社' (Japan Demo Company). The report title is '試算表' (Trial Balance). The report is displayed in a table format with columns for '勘定科目始め' (Account Code), '説明' (Description), '勘定科目タイプ' (Account Type), '開始金額' (Opening Balance), '借方金額' (Debit Balance), '貸方金額' (Credit Balance), '会計期金額' (Accounting Period Amount), and '決算金額' (Closing Balance). The table is divided into four sections (1, 2, 3, 4) with sub-totals for each.

勘定科目始め	説明	勘定科目タイプ	開始金額	借方金額	貸方金額	会計期金額	決算金額
11000	製品売上	損益	162,480.00 C	0.00	1,360,000.00	1,360,000.00 C	1,522,480.00 C
12000	サービス売上	損益	0.00 C	0.00	840,000.00	840,000.00 C	840,000.00 C
13000	保守売上	損益	0.00 C	0.00	360,000.00	360,000.00 C	360,000.00 C
<b>合計: 1</b>			<b>162,480.00 C</b>	<b>0.00</b>	<b>2,560,000.00</b>	<b>2,560,000.00 C</b>	<b>2,722,480.00 C</b>
21000	製品売上原価	損益	0.00 C	350,000.00	0.00	350,000.00 D	350,000.00 D
22000	サービス売上原価	損益	0.00 C	208,000.00	0.00	208,000.00 D	208,000.00 D
23000	保守売上原価	損益	0.00 C	198,000.00	0.00	198,000.00 D	198,000.00 D
25000	物流費	損益	0.00 C	183,000.00	0.00	183,000.00 D	183,000.00 D
<b>合計: 2</b>			<b>0.00 C</b>	<b>939,000.00</b>	<b>0.00</b>	<b>939,000.00 D</b>	<b>939,000.00 D</b>
32100	基本給	損益	0.00 C	319,000.00	0.00	319,000.00 D	319,000.00 D
32700	購買品費	損益	0.00 C	247,000.00	0.00	247,000.00 D	247,000.00 D
34100	貸倒引当金	損益	0.00 C	95,000.00	0.00	95,000.00 D	95,000.00 D
35100	通信費	損益	0.00 C	194,000.00	0.00	194,000.00 D	194,000.00 D
35600	支払家賃	損益	0.00 C	64,000.00	0.00	64,000.00 D	64,000.00 D
36200	備品減価償却費	損益	0.00 C	168,000.00	0.00	168,000.00 D	168,000.00 D
36300	車両減価償却費	損益	0.00 C	125,000.00	0.00	125,000.00 D	125,000.00 D
37100	広告費	損益	0.00 C	147,000.00	0.00	147,000.00 D	147,000.00 D
37102	文書費	損益	0.00 C	100,000.00	0.00	100,000.00 D	100,000.00 D
37300	会議費	損益	0.00 C	130,000.00	0.00	130,000.00 D	130,000.00 D
37310	接待費	損益	0.00 C	25,000.00	0.00	25,000.00 D	25,000.00 D
37400	国内旅費	損益	0.00 C	13,000.00	0.00	13,000.00 D	13,000.00 D
37600	消耗品費	損益	0.00 C	42,000.00	0.00	42,000.00 D	42,000.00 D
38200	支払利息	損益	0.00 C	120,000.00	0.00	120,000.00 D	120,000.00 D
38300	受取利息	損益	0.00 C	0.00	41,000.00	41,000.00 C	41,000.00 C
<b>合計: 3</b>			<b>0.00 C</b>	<b>1,789,000.00</b>	<b>41,000.00</b>	<b>1,748,000.00 D</b>	<b>1,748,000.00 D</b>
46100	減価償却累計(コンピュータ機器)	貸借対照表	9,076.92 D	0.00	0.00	0.00 C	9,076.92 D
46200	減価償却累計(家具什器)	貸借対照表	13,615.39 D	0.00	0.00	0.00 C	13,615.39 D
46300	減価償却累計(車両)	貸借対照表	13,269.23 D	0.00	0.00	0.00 C	13,269.23 D
<b>合計: 4</b>			<b>35,961.54 D</b>	<b>0.00</b>	<b>0.00</b>	<b>0.00 C</b>	<b>35,961.54 D</b>

# 専用帳票ツール： Query & Analysis

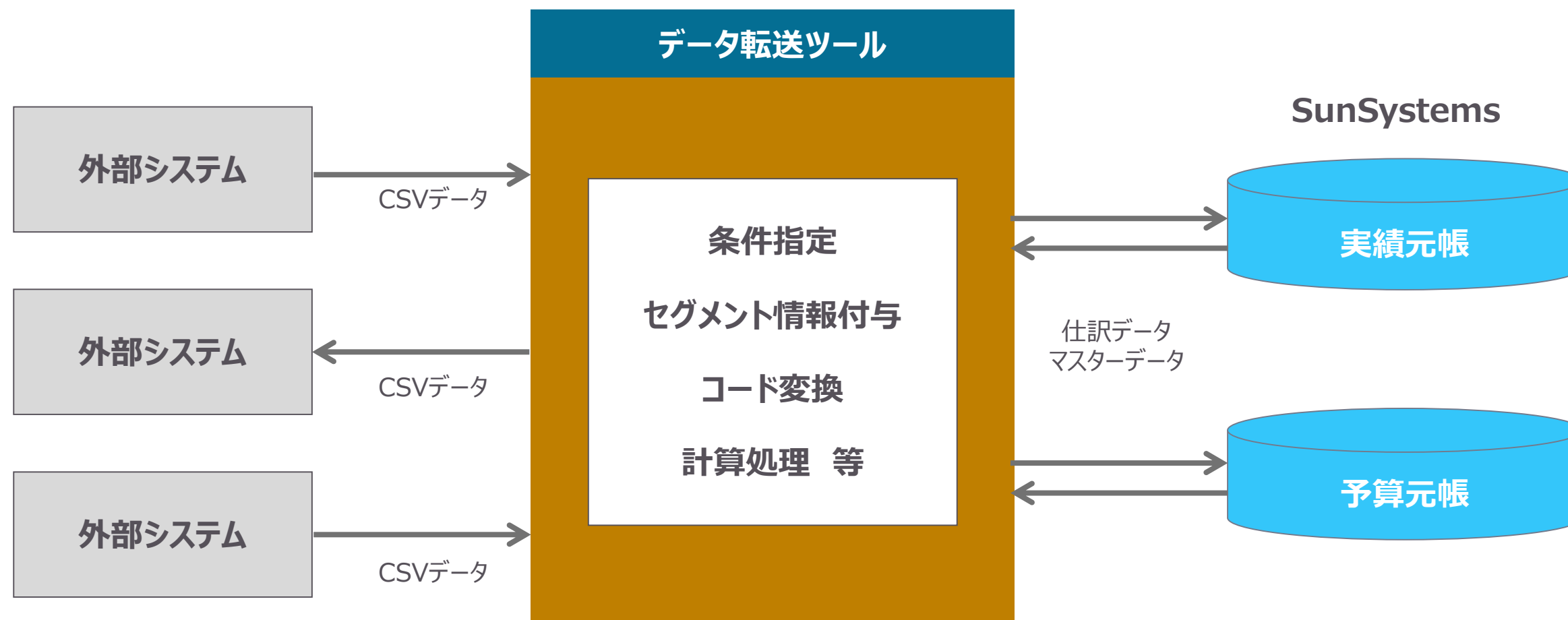
- SunSystems専用の帳票ツールであるQuery & Analysisは、SunSystemsのデータに直接アクセスし、任意データを抽出して指定された形式でExcel上に展開するツールです。このツールによりユーザはExcel機能を活用してSunSystemsのレポート作成が可能となります。
- レポートについては、リスト形式・マトリクス形式で作成することができ、勘定科目と部門のマトリクスによるレポートや複数の元帳内容を比較するレポート（予算と実績、国内向けと本社向け 等）が作成可能です。
- サマリレポートから詳細情報へのドリルダウンや、SunSystemsの仕訳明細へのドリルスルーなども可能です。



	1999/002	実績	予算	差異	実績累計	予算累計	差異
<b>売上高</b>	<b>14,764,937</b>	<b>14,894,765</b>	<b>129,828</b>	<b>29,635,108</b>	<b>31,311,840</b>	<b>1,676,732</b>	
<b>売上原価</b>	<b>3,219,201</b>	<b>7,868,586</b>	<b>4,649,385</b>	<b>12,068,681</b>	<b>16,541,376</b>	<b>4,472,694</b>	
<b>売上総利益</b>	<b>11,545,736</b>	<b>7,026,179</b>	<b>-4,519,557</b>	<b>17,566,427</b>	<b>14,770,465</b>	<b>-2,795,962</b>	
<b>売上総利益率</b>	<b>78 %</b>			<b>59 %</b>			

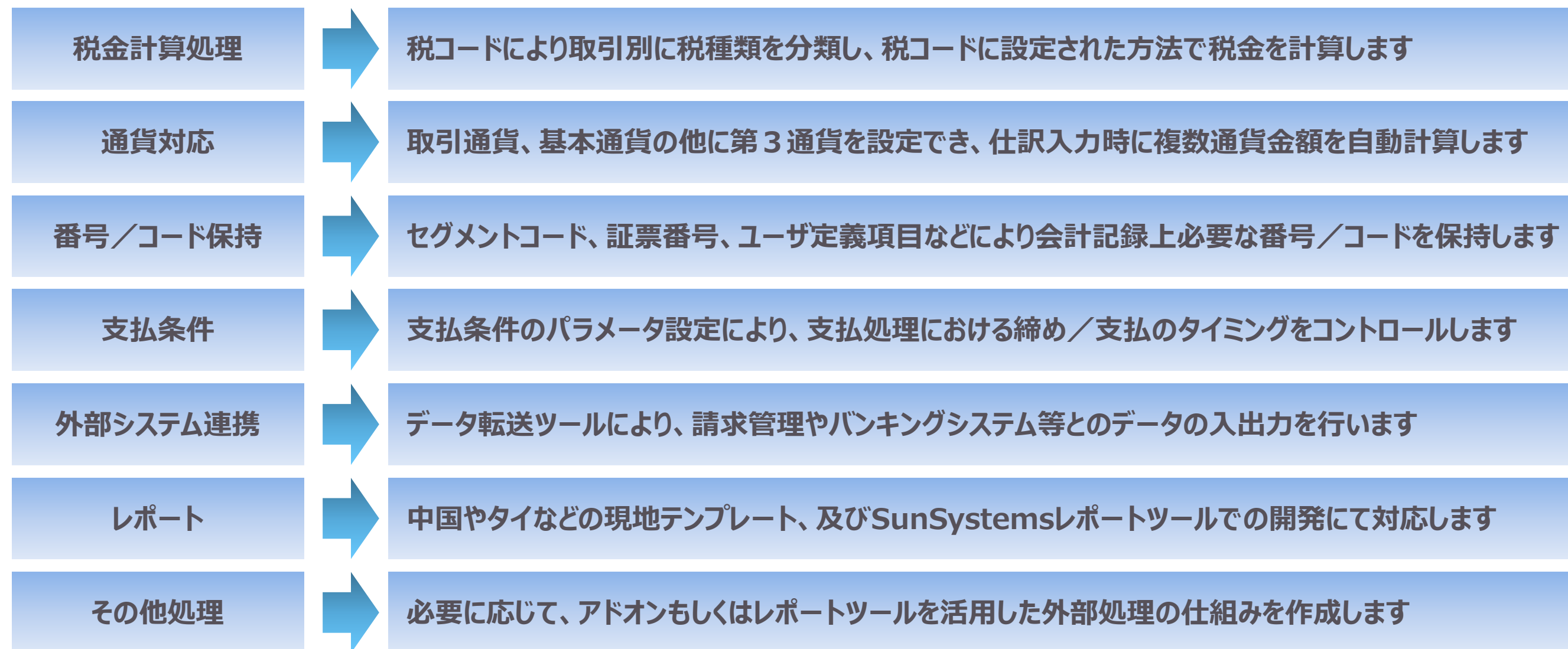
# 他システム連携

Infor SunSystemsのデータ転送ツールにより、他システムから入手する会計データをSunSystemsに取り込み、仕訳データを生成したり、逆にSunSystemsのデータを出力することができます。仕訳データ生成時に勘定科目コードとセグメント情報の分解、コード変換、各種計算等の処理を組み込むことも可能です。



# 各国要件対応

Infor SunSystemsは、各種のパラメータ設定とデータ転送／レポートツール等により各国現地の要件に対応します



# SunSystems J-Pack

SunSystems J-Packは、日本の会計要件に対応した機能を提供するオプションパッケージです（日本語のみ提供）

<b>振替伝票入力</b>	J-Pack基盤モジュールは、日本式の振替伝票入力に必要な機能をサポートするモジュールです。振替伝票入力機能、伝票チェックリスト機能、伝票承認機能という3つの機能を持っています。	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 振替伝票を貸借伝票形式で入力することができます。</li><li>■ 消費税処理は、内税/外税/別段といった選択が可能です。</li><li>■ 「定型登録」機能により、モデル伝票を定義し、同様な取引の伝票入力を簡略化することができます。</li></ul>
<b>債務・支払管理</b>	J-Pack債務・支払管理モジュールは、各部署で受け取る請求書や購買系システムなどで発生する支払依頼データの計上処理から締め処理、支払処理まで一貫して管理するモジュールです。各種支払方法に対応し、全銀協形式の送金インターフェースなど日本特有の要件に対応しています。	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 振込、手形、自動引落、現金など各種支払方法に対応</li><li>■ 支払方法の自動分割、振込手数料等を自動控除</li><li>■ 銀行振込データの自動作成</li><li>■ 仕入先に対し、支払条件や手数料処理方法を事前設定</li></ul>
<b>債権・入金管理</b>	J-Pack債権・入金管理モジュールは、債権の計上処理から入金・消し込み処理まで一貫して管理するモジュールです。全銀協形式の入金インターフェースなど日本特有の要件に対応しています。	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 過入金及び前受金とその相殺機能</li><li>■ 入金情報の会計への自動仕訳</li><li>■ ファームバンキングシステムからの入金情報取込み機能</li><li>■ 得意先コードの登録機能</li></ul>
<b>手形管理</b>	J-Pack手形管理モジュールは、債務管理の支払選択で支払方法として手形決済とされた支払額に対する手形決済プロセスをサポートします。手形サイト別の手形分割、印紙税額の計算等の基本要件が装備され、また受取手形の登録・管理もあわせてサポートします。	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 取引銀行・支店の管理</li><li>■ 手形のサイト、分割条件の登録</li><li>■ 印紙税・手数料の登録管理</li><li>■ 受取手形、支払手形の受付・発行処理</li></ul>
<b>経費管理</b>	交通費、立替経費、出張旅費など社内発生する各種経費をWeb画面を使って現場入力します。一旦入力した経路や金額は自動的に登録されます。経費管理モジュールで登録された支払情報に基づき、債務管理モジュールで支払処理が行われ、FBシステムに振込データを渡します。	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 現場入力を想定した簡易入力画面</li><li>■ 出張旅費管理において申請から精算までを処理</li><li>■ 消費税金額の自動計算</li><li>■ 債務・支払管理モジュールへ支払依頼データを連携</li></ul>
<b>外貨建債権債務管理</b>	外貨建取引に伴う支払および入金に必要な処理を行います。外貨入金時に回収レートの登録が可能で、為替差損益の自動計算および自動仕訳を行うとともに、銀行手数料、ユーザンス利息、源泉税等の差額を調整可能です。外貨支払時にも同様に為替差損益の自動計上が可能です。	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 通貨の登録と対円換算レートの登録</li><li>■ 銀行手数料、ユーザンス利息、源泉税等の差額調整機能</li><li>■ さまざまな方法での債権債務相殺機能</li><li>■ 為替予約取引における予約登録と予約残管理</li></ul>



TM

